

明治神宮野球場周辺における雰囲気・景観形成要素

安村 健亮（地球科学専攻）

- 1. 調査目的:** 本調査では東京ヤクルトスワローズが本拠地を置く明治神宮野球場周辺を事例として、隣接する駅（東京メトロ外苑前駅など）から球場の入り口までの間に、雰囲気や景観を構成するためにどのようなものが設置されているのか、また設置される場所にはどのような特徴があるのかを明らかにする。
- 2. 対象地域:** 本調査の対象地域は、最寄り駅から球場へのアクセス経路等を考慮し、南端を国道246号線、東端を都道319号線、北端をJR中央本線、西端を外苑西通りとした。また、球場とJR千駄ヶ谷駅間のアクセス経路を考慮し、東京体育館とJR千駄ヶ谷付近も調査範囲とした（第1図）。
- 3. 調査方法:** 本調査ではGPSとフィールドノート、カメラを用い、東京ヤクルトスワローズに関係すると思われるポスター・フラッグなどが設置されている位置をウェイポイントと写真で記録し、どのようなものが設置されているのかをノートに記録した。その際に設置者や何らかの特徴が見受けられる場合も同様にノートに記録した。その後、フィールドワークで取得した位置情報をArc GISに取り込み、分布について分析を行った。

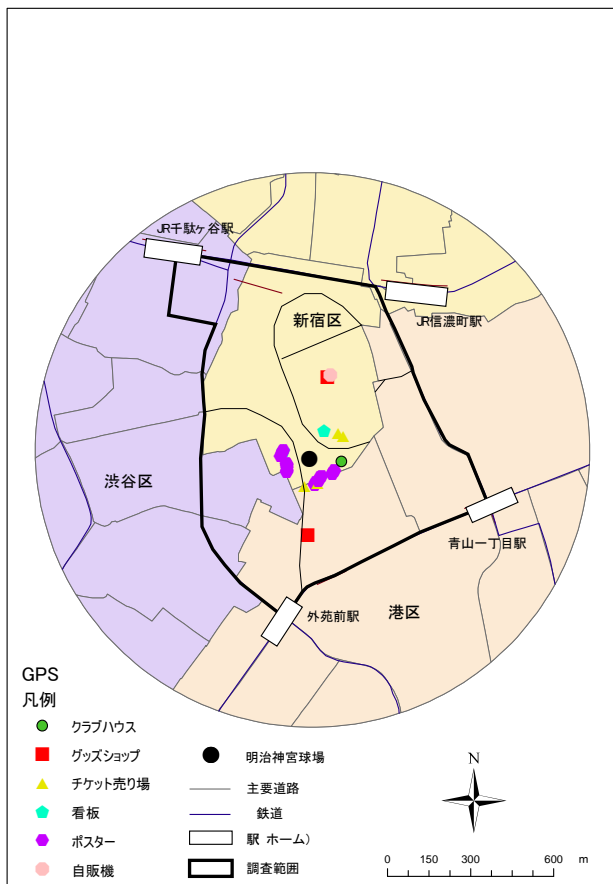
- 4. 結果・考察:** 結果は第1図に示した通りである。種類ごとの数としては圧倒的にポスターが多く、フラッグ等は見られなかった（第1表）。ポスターなどを含むほぼ全ての東京ヤクルトスワローズに関する事物は球場周辺に分布していた。特にポスターは球場の外側の壁面に沿って掲示されており、内容は調査時期を反映してかファンクラブ会員を募集するものであった。看板については球場北側に当たる外野スタンド入り口に大きなものが設置されていたが、球場正面には設置されていなかった。また、球場北西側（レフトスタンド）では改装工事が進められており、ほぼ掲示物は存在しなかった。

球場周辺以外の場所へ目を移すと、東京ヤクルトスワローズに関するものはほぼ存在せず、JR信濃町駅方向と東京メトロ・都営地下鉄青山1丁目駅それぞれへのアクセス経路上にあるグッズショップ（信濃町駅方向の途上にあるグッズショップには東京ヤクルトスワローズ仕様の自販機もあった）のみであった。

以上のことから、球場以外では東京ヤクルトスワローズに関する事物を見つけることは難しいことが判明した。また、最寄り駅へのアクセス経路上に関しては球場北側からJR信濃町駅方向へと向かう道沿いに若干の分布が見られた。

なお、この調査結果が、球団が持つ性質を表しているのか、時期的なものに左右されているのかは不明であり、解明のためには夏季（プロ野球シーズン中）の調査が必要であろう。

（調査日：2016年2月9日）



第1図 研究対象地域とポスターなどの分布

第1表 掲示物などの種類とその箇所数

掲示物等の種類	箇所数
ポスター（ファンクラブ会員募集）	22箇所
グッズショップ	2箇所
チケット売り場（QR発券機含む）	3箇所
看板	1箇所
自動販売機	1箇所
クラブハウス	1箇所